

令和3年度 大田区立入新井第四小学校 授業改善推進プラン

1 学力向上をはかる全体計画

一人ひとりの子どもが自分らしく自己実現し、未来をたくましく生き抜く子

本校の学校教育目標

○心ゆたかな子 ○ともに学ぶ子 ○たくましく生きる子

目指す学校像

- 児童にとって、安心して自分を表現でき、目標をもってがんばる過程が認められ、自己肯定感が育まれる学校
- 保護者にとって、安心して通わせることができ、子供たちのために協力したいと思える学校
- 地域にとって、親しみと誇りを感じる存在で、学校の活動を応援・支援したいと思える学校
- 教職員にとって、改善に向けた取組の成果や学校組織の一員としての貢献を実感できる学校

授業改善の推進

「大田区学習効果測定」、「全国学力調査」、「東京都児童・生徒の学力をを図るための調査」等の分析・考察をとおり、児童の学習取得状況を適切に把握し、学校組織全体で具体的な授業改善に取り組み、その結果について検証を行う。

児童の実態に基づく授業改善の重点項目

- ① 学習規律の確立 ② 学びに向かう力の育成 ③ 基礎・基本の徹底(学習評価精度の向上)

授業改善の重点項目に対する具体的方策

重点項目	① 学習規律の確立	② 学びに向かう力の育成	③基礎・基本の徹底
改善のキーワード	・見通し ・集中 ・学び合う	・学習意欲 ・追究意識 ・粘り強く取り組む ・共感性	・理解の徹底 ・繰り返し ・学習環境 ・学習評価
具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ○学習規律スタンダードの策定 ○学習規律スタンダードの実施と児童による自己評価 (毎週末時並びに学校評価時；70%以上の児童が「学習のルールを守っている」と肯定的に評価する。) ○「学習カルテ」で毎学期末の振り返りと保護者へのフィードバック ○一人一人の考えや思いを大切にしたい授業展開の工夫や雰囲気作り 	<ul style="list-style-type: none"> ○「主体的に学び合う子どもの育成—教えて考えさせる授業の実践を通して—」をテーマに、児童に身に付けさせたい力を明確にして校内研究を進める。 ○テスト直しの重視 ○期末テストの実施(同じような問題のテストを2回実施し、「やればできる」心を育てる) ○家庭学習についての指導 (70%以上の児童が「計画的に進んで家庭学習に取り組んだ」と肯定的に評価をする) 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数では習熟度別の少人数授業の実施 ○東京ベーシックドリル確認シートの年6回実施(70%以上の児童を習得率70%以上にする) ○ステップ学習チェックシートの徹底指導 ○落ち着いて学習に取り組むための土曜補習「土曜がんばる教室」の改善 ○評価研修会の実施・評価結果の検討 ○ワークテスト達成率70%以上の児童を70%以上にする
70%以上の教員が自らの授業改善に向け具体的な向上がみられたと実感する。			